

函南町軽井沢メガソーラー関連のマスコミ報道 2021

2021/4/26

函南町 メガソーラー防災面で懸念（静岡新聞 2021 年 1 月 20 日版） 周辺首長に協力依頼	2
函南町に建設計画 メガソーラー（NHK 2021 年 1 月 20 日放送） 反対住民“環境影響評価の方法不十分”	3
アセスへ意見書 住民に説明内容（朝日新聞 2021 年 1 月 20 日版） メガソーラーで函南町長	4
環境保全を重視（伊豆日日新聞 2021 年 1 月 21 日版） メガソーラー計画で仁科町長 反対住民に姿勢示す	4
函南メガソーラー計画 地元商工会が「反対」（テレビ静岡 2021 年 2 月 1 日放送） 町の意見への反映求める 静岡・函南町	5
メガソーラー「景観激変、事業中止を」（伊豆日日新聞 2021 年 2 月 2 日版） 函南町商工会八木戸会長ら町長に意見書、要望	6
メガソーラー中止求め（静岡新聞 2021 年 2 月 2 日版） 函南町商工会、町長に意見書	7
メガソーラー「直下に活断層」（朝日新聞 2021 年 2 月 2 日版） 会結成の住民が勉強会	8
事業地直下に活断層（静岡新聞 2021 年 2 月 3 日版） 専門家 土砂災害の危険性指摘	9
函南メガソーラー「知事との面会望む」（伊豆日日新聞 2021 年 2 月 11 日版） 反対住民、県担当者と会談	10
災害への危機感強く（静岡新聞 2021 年 2 月 17 日版） 函南町メガソーラーへ住民意見	11
メガソーラー「住民の思い、重視を」（伊豆日日新聞 2021 年 2 月 17 日版） 函南議会 一心会、古村氏、町に要望	12
メガソーラー「地域共生に厳正対応を」（伊豆日日新聞 2021 年 3 月 2 日版） 衆議院予算委分会で勝俣氏質問	13
メガソーラー地域共生への取り組みは（伊豆日日新聞 2021 年 3 月 12 日版） 衆院委員会で勝俣氏質問 小泉環境相に対応聞く	14
住民説明「不十分」（静岡新聞 2021 年 3 月 17 日版） メガソーラー巡り町議会 函南	15
函南メガソーラー「視察し住民の声聞いて」（伊豆日日新聞 2021 年 4 月 3 日版） 町議会 知事に反対の意見要望	16
函南町議会「建設反対」要望（静岡新聞 2021 年 4 月 6 日版） メガソーラー知事意見書に反映を	17

周辺首長に協力依頼

函南町長
メガソーラー防災面で懸念
周辺首長に協力依頼

函南町の仁科喜世志町長は19日、同町軽井沢の大規模太陽光発電所（メガソーラー）建設計画について「治山

治水の問題をクリアできるとは思えない」とし、周辺市町の首長を訪ねて防災面での懸念を示すコメントを寄せ

てもらおうよう依頼する考えを示した。環境影響評価（アセスメント）

の方法書に対する町長の意見書に反映させる方針。

同日、計画に反対す

る住民団体との面談で明らかにした。メガソーラーの建設に伴う森林の保水力低下、事業用地が活断層の真上に位置する問題点を踏まえ、豪雨や台風などの影響が他市町にも及びかねない事態を想定。周辺の市町長からコメントが得られれば環境アセス方法書の縦覧期間後に作成する意見書に盛り込み、防災面で

の危機意識を地域全体で発信する。

面談では沼津市民も出席し、駿河湾も含めた広範囲に影響が拡大する可能性を指摘した。仁科町長は「意見書では流域の人々の考えも触れさせてもらう」と述べた。

地域密着の姿勢は忘
くはない。組合員
中には、合併によつて
が行き届かなくなると
不安もあるだろう。地

国保賦課限度額
21.1.20

函南町に建設計画 メガソーラー（NHK 2021 年 1 月 20 日放送）

反対住民“環境影響評価の方法不十分”



函南町に建設が計画されている大規模太陽光発電所をめぐり、土砂災害のおそれなどから反対する住民らが、事業者がこれまでに示している環境影響評価の方法は不十分だなどとして、改善を促すよう町に求めました。

函南町の軽井沢地区に計画されているおよそ65ヘクタールのメガソーラーの建設をめぐっては、一部の住民が、土砂災害のリスクの高まりや自然環境への影響を懸念して反対している一方、東京の事業者は、これまでに建設計画を進める上で必要な環境影響評価の方法を町などに示しています。



これについて、住民らが19日に町役場を訪れ、水質や地質などの対象範囲には根拠がなく、不十分だなどとして、事業者に対し、改善を文書で促すよう町に求めました。

この中で住民の1人は、建設予定地は、おととしの台風で実際に土砂崩れが起きたとして、「今後も大雨になれば災害が発生するおそれがあり不安だ」と訴えました。

また土砂災害が起きれば、沼津市などを流れる狩野川があふれ、水害を招くおそれがあるという声も聞かれました。



要望に対し、函南町の仁科喜世志町長は、住民の懸念は理解できるとして対応を検討する考えを伝えていました。

アセスへ意見書 住民に説明内容（朝日新聞 2021 年 1 月 20 日版）

メガソーラーで函南町長

**アセスへ意見書
住民に内容説明**
メガソーラーで函南町長

函南町軽井沢地区で計画されているメガソーラー建設問題で、同町の仁科喜世志町長は19日、反対派住民らと面会した。席上、「治山治水問題をクリアできない」と述べ、事業阻止を目指す考えを示した。

現在、事業者に義務化されている環境アセスメントに向けた準備が進んでいる。仁科町長は、手続きの

中で示すことになる意見書の内容について説明。「（2019年の）台風19号では大きな水害が発生した。計画では39もの森林を伐採する。狩野川下流域の首長に直接会い。その思いも意見書に盛り込みたい」と述べた。

これに対し、「函南町軽井沢メガソーラーを考える会」の山口雅之代表は意見書の方向性は評価したが「アセスでは事業を止められない。阻止のためには町条例の適用が必要だ」と訴えた。

（岡田和彦）

環境保全を重視（伊豆日日新聞 2021 年 1 月 21 日版）

メガソーラー計画で仁科町長 反対住民に姿勢示す



仁科町長の話に耳を傾けるメガソーラー計画に反対する住民ら
Ⅱ 函南町役場

環境保全を重視

メガソーラー計画で仁科町長
反対住民に姿勢示す

函 南

函南町の軽井沢地区 建設計画を巡り、計画で進む大規模太陽光発電に反対する住民らがこのほど、町役場で仁科

内容に関する意見を、知事宛てに提出することになっている。

仁科町長は「方法書の内容を確認しているが不十分な部分が多い。函南町は大きな土砂災害や水害を受けてきた地域。この計画では治山、治水の問題をクリアできるとは思えない」と述べ、「台風19号では狩野川など広域に被害が及んだ。周辺市町の首長に環境アセスについての意見を直接伺い、協力もお願いしたいと考えている」と語った。

面会には函南町軽井沢メガソーラーを考える会をはじめ、沼津市からも市民が参加した。同会の山口雅之代表は「仁科町長が環境アセスに対して反対住民と同じ思いを共有してもらっていることを縦覧終了後、県の求めにに応じ、仁科町では方法書と語った。

函南メガソーラー計画 地元商工会が「反対」 (テレビ静岡 2021 年 2 月 1 日放送)

町の意見への反映求める 静岡・函南町



函南町で計画されているメガソーラーについて商工会が町長に要望です。

東京の事業者がメガソーラーおよそ 10 万枚の太陽光パネルを町内に設置する計画で、今日は商工会のメンバーが「災害などへの懸念から中止すべき」として意見の反映を仁科町長に要望しました。



メガソーラー「景観激変、事業中止を」（伊豆日日新聞 2021年2月2日放送）

函南町商工会八木戸会長ら町長に意見書、要望

うらやまし

ボが大の苦
分ウツボ

元島沿岸



●伊勢エビを押さえ込むタコ



要望書を読み上げる八木戸会長（右）函南町役場

また、稲木監督の関 持ちを込めて述べた。

メガソーラー
「景観激変、事業中止を」
函南町商工会
八木戸会長ら 町長に意見書、要望

函南町の軽井沢地区で進む大規模太陽光発電所（メガソーラー）建設計画を巡り、函南町商工会の八木戸一重会長らが1日、町役場を訪れ、同事業に対する同商工会の意見書と町の対応についての要望書を仁科喜世志町長に提出した。

八木戸会長は「観光事業者の存続の命運を左右しかねない計画。事業計画は中止されるべきもの」と述べて、「提出した意見書の内容を十分に考慮し、県知事宛ての町の意見書に反映してほしい」と求めた。仁科町長は「町は一環して不同意を貫いている。県の意見書には、商工会の自然・緑・景観環境の意見を最大限尊重し、提出する」と述べた。

要望書では「軽井沢地区に65・3畧の広大な林地等を伐採し、ソーラーパネルを設置することは、治山・治水、流域住民、事業者の安心・安全の観点から重大な懸念と危惧を有している」「山肌に張り付けて設置されるソーラーパネルが素晴らしい自然・緑・景観環境

移住定住
「企業と情報共有」
三島市と3社で研究会発足

三島市と市内の3社で8千人減という推計がある。各企業と情報共有していききた1日、市役所で開かれた。豊岡武土市長と各社代表が出席し、今後の取り組みや役割について確認した。

豊岡市長は「10年間



あいさつする豊岡市長（手前）と参画企業代表
＝三島市役所

を激変させることになった。など中止を求めた。

同商工会は開発業者のフルーキャピタルマネジメント（東京都港区）が県条例に基づき実施している同事業所

に「関わる環境影響評価方法書に対し、1月28日の理事会で審議し、すでに同事業所に意見書を出している。この意見書を町への要望書に添えた。」

函南町商工会、町長に意見書

函南町商工会は1日、同町軽井沢で進む大規模太陽光発電所（メガソーラー）の建設に対し、事業の中止を求

メガソーラー中止求め

函南町商工会、町長に意見書



仁科町長（左）に意見書を手渡す八木戸会長＝函南町役場

める意見書を仁科喜世志町長に提出した。仁科町長は環境影響評価（アセスメント）方法書に対する町の意見書に反映させる方針。同商工会は事業者が設置する3カ所の調整池が事業用地の1・5%にすぎない点を指摘し、「大量の雨水が調整池の容量を超えれば、一昨年の台風19号以上の危機が生じる」とした。景観面では周辺の8カ所からソーラーパネルの可視領域に入ることで「自然環境に人工物が入り交じり、景観価値を著しく損ねる」とし、観光業への悪影響を訴えた。八木戸一重会長から意見書を受け取った仁科町長は「商工業者の考えを代弁するため、意見を最大限尊重したい」と語り、提出する町の意見書に盛り込む考えを示した。八木戸会長は「事業の阻止に向け、町と一緒に取り組んでいきたい」と述べた。

会結成の住民が勉強会

メガソーラー

「直下に活断層」

会結成の住民が勉強会

函南町軽井沢地区で計画されているメガソーラー予定地近くの住民が「丹那の自然と生命を守る会」を結成し、1月30日に現地で30人が参加して勉強会を開いた。講師を務めた地質の専門家でコンサルタントの塩坂邦雄氏が計画地の直下に活断層があり危険だと指摘した。

塩坂さんによると、洪水防止のための調整池付近の地下を国土地理院が公表している活断層が走っている。このため「断層が動いて地震が起きれば（調整池の）堤体は崩壊し下流を土石流が襲う。こんな危険な計画は止めなければならな

い」と主張した。

守る会は計画地の近くにある丹那小学校・幼稚園に子どもを通わせる親たちが中心になって昨年末結成した。会長の会社員溝口靖基さん（54）は「まずはメガソーラー阻止のために全力を尽くす。阻止した後は活気と魅力にあふれたまちづくりを進める活動に発展させていきたい」と話した。

計画では開発業者のブルーカーピタルマネジメント（東京都港区）が丹那盆地北側斜面の山林約65haに太陽光パネル約10万枚を設置、中部電力子会社のトーエネック（名古屋市中）が東京電力に売電する。環境アセスメントに向けた準備を進めており、守る会ではアセスに対する意見書で活断層の危険性を指摘することにした。

（岡田和彦）



事業用地の付近を訪れて地質を調べる塩坂邦雄氏（手前）
＝1月30日、函南町軽井沢

函南・メガソーラー計画

事業地直下に活断層

専門家 土砂災害の危険性指摘

函南町軽井沢の大規模太陽光発電所「メガソーラー」建設計画で、事業用地の真下に活断層が通っていることが分かった。地質調査で、断層図では、約65センチの断層が、事業用地の直下には三つの活断層が南北に走っている。同事業の環境影響評価（アセスメント）方法書にも活断層の存在が記載され、その上に雨水をためる約2万4千坪の調整池などが建設される計画。開発事業者のブルーキャピタルマネジメント（東京）は「活断層は止めるのは難しい」と、審査の過程で「活断層の存在は確認していない」という。一



より調整池が満水の状態で活断層が動いた時の危険性を指摘。水が土砂を巻き込み、ものすごいエネルギーで土砂が襲う。下流の丹那小学校まで数分ではないか」とみ

県によると、環境アセスの調査項目には「土地の安定性」が含まれるもの、どこまで調べるかは事業者次第。現時点のアセス計画で活断層の位置に関する調査を行う予定はなく、ブルーキャピタルマネジメントは「調査を求める意見が出れば誠実に検討したい」という。

事業に「不同意」の

長野で住宅火災 相次ぎ4人死亡
長野県で、白河から2日朝にかけて、山ノ内町と松本市で住宅火災が2件発生し、県警によりますと、計4人の遺体が見つかった。住人の2組の高齢夫婦4人、80代の白鳥さんと70代の妻と連絡が取れていない。2日午前5時15分ごろには松本市開智、東條さん92才で火災と連絡が取れていない。東條さんと妻87才と連絡が取れていない。山ノ内町警、白

函南太陽光発電事業 函南町東端の山林に広がる事業用地65センチ、約10万坪のソーラーパネルを設置する。2022年8月に着工し、23年12月に運転を開始する予定。ブルーキャピタルマネジメント（東京）が開発事業を行い、固定価格買い取り制度に基づき中部電力子会社のトリエネック（名古屋）が東京電力に全量売電する。

鶴岡市大谷地区(22)と共謀したとみている。逮捕容疑は、松江市の大学生を鶴岡市に紹介し昨年7月、この大学生に鶴岡市職員の指図で給付金を不正申請させ、中小企業庁から100万円を大学生の口座に振り込ませた詐欺の疑い。鶴岡市が大学生から数十万円を受け取り、田中容疑者がうち数万円を「紹介料」として得た疑いがあるという。

(1)

第13473号 (昭和58年3月22日第3種郵便物認可)

伊



県の林地開発許可について話をする藤田局長(左)
＝函南町の軽井沢公民館

函南メガ
ソーラー

「知事との面会望む」

反対住民、県担当者与会談

函南町軽井沢で計画が進む大規模太陽光発電所(メガソーラー)による会談が10日、軽井

沢公民館で行われた。同事業は県の林地開発許可を受けている。

事業用地の直下には三つの活断層が南北に走っている。同事業の環境影響評価(アセスメント)方法書にも活断層の存在が記載され、その上に雨水をためる約2万4千トンの調整池などが建設される計画。反対住民らは調整池直下の活断層とスコリア層による土砂災害による災害リスクを指摘している。

会談には函南町軽井沢メガソーラーを考える会(山口雅之代表をはじめ、周辺市町の関係住民ら24人が参加。県からは担当者6人が出席し、事業計画の現状などを説明した。山口代表は「県と住民と協力してこの問題の解決に取り組んでいきたい。県のトップである知事と会う機会を設けてもらい、地元の声を直接伝えたい」と訴えた。

国土地理院活断層図では、約65診に広がる

三島南高 センバ 祝
三島市大場の三島南高に、第93回選抜高校野球大会出場を祝う懸垂幕が登場した。応援の看板や旗も設置され、学校挙げてムードを盛り上げている。

に対しては行政指導を続けていく」と説明した。



函南町メガソーラーへ住民意見

災害への危機感強く

函南メガソーラーへ住民意見

一心会
町長に報告

仁科町長（左）に報告書を手渡す土
屋会派長＝函南町役場



函南町議会の会派
「一心会」は同町軽井
沢で進む大規模太陽光
発電所（メガソーラー）
建設計画に対し、環境
影響評価（アセスメン
ト）の方法書に対する

町民や企業など211
件の意見をまとめ、16
日に町役場で仁科喜世
志町長に報告した。災
害に危機感を抱く町民
は多く、仁科町長が作
成する町の意見書に反
映するよう求めた。
一心会には個人19
5件、団体16件の意見
が寄せられ、水害・浸水
を懸念する内容が最多
の70件、地震・活断層に
よる危険性の指摘は37
件だった。自然破壊な
ど環境への影響に加
え、事業者の説明不足
に憤る声も上がった。
土屋学会派長は「町民
の思いを重視し、リー
ダーシップを発揮して
解決に尽力してほしい」と仁科町長に訴え
た。

同計画に対して「不
同意」の姿勢を示して
いる仁科町長は「メガ
ソーラーができれば毎
日が不安になる。オー
ル函南で取り組んでい
きたい」と応じた。
難航する統合計画
今後の方向性議論
西伊豆町教委
西伊豆町教育委員会
は15日夜、本年度の第
4回文教施設等整備委
員会を同町の安良里公
民館で開いた。難航し
ている認定こども園と
小中一貫校の統合計画
の現状を報告し、委員
約15人と今後の方向性
について議論した。
統合計画は町議会に
よる2度の予算削除を
受けて停滞している状
況。委員会では長きに
わたり意見を交わし、
方向性を定めてきただ



仁科町長(左)に要望書を手渡す
土屋会派長＝函南町役場

函南議会

一心会、古村氏、町に要望

「町民の思い、重視を」

望書は「町長として町民の思いを重視し、町が力を含わせ、この問題に取り組んでいけるようリーダーシップを発揮し、解決に向け尽力してほしい」などと求めた。

同会派と古村氏は、開発業者のブルーキャピタルマネジメント（東京都港区）が県条例に基づき実施した同事業所に関わる環境影響評価方法書に対し、町

内の事業所や町民に意見書提出を求めた。その結果、230を超えている意見書が集まったという。意見書は事業者に送るとともに、内容を整理、集約し、町長宛ての要望書に添付した。

土屋会派長は「町民による重要な意見を理解していただき、町長が県に提出する報告書の中で、しっかりと反映してほしい」と述べた。

内の事業所や町民に意見書提出を求めた。その結果、230を超え、意見書が集まったという。意見書は事業者に送るとともに、内容を整理、集約し、町長宛ての要望書に添付した。

土屋会派長は「町民による重要な意見を理解していただき、町長が県に提出する報告書の中で、しっかりと反映してほしい」と述べた。

衆議院予算委分会で勝俣氏質問

伊 豆 日 日 新



メガソーラー

衆議院予算委分会で勝俣氏質問

「地域共生に厳正対応を」

梶山経産相「違反は認定取り消す」

自民党の勝俣孝明衆議院議員(比例東海)はこのほど、衆議院予算委員会第7分会で大規模

太陽光発電施設(メガソーラー)事業について質問した。伊豆半島のメガソーラー計画を念頭に置き、地域との共生が取れていない事業者に対してFIT(再生可能エネルギーの固定価格買取制度)

認定の取り消しを徹底してほしいと梶山弘志経産相に求めた。梶山経産相は「地域の自治体が定めた条例を含む関係法令順守をFITの認定条件として定めている。違反した場合は認定を取り消すこととし、厳正に対応していきたい」と答

えた。

JR伊東

高校生おもてなし「にぎわい」

伊東市の「高校生観光おもてなし特派員」

住民説明「不十分」（静岡新聞 2021 年 3 月 17 日版）

メガソーラー巡り町議会 函南

あなたの静岡新聞

静岡

知っとこ

追っかけ

新着



住民説明「不十分」 メガソーラー巡り町議会 函南

2021.03.17

函南町議会 3 月定例会は 16 日、一般質問を行い、町は同町軽井沢で建設計画が進む大規模太陽光発電所（メガソーラー）に関し、事業者の住民に対する説明が不十分として「国、県と連携して今まで以上の指導をしていく」と述べた。古村高氏（無会派）への答弁。

県の林地開発許可では説明会などで住民の理解を得る努力を認可の条件としているが、町は「説明会は不十分。住民の理解を得よう努めているとは判断していない」と指摘した。事業者が実施した県条例に基づく環境影響評価（アセスメント）方法書の縦覧では、町民から多くの反対意見が寄せられたとみられる。仁科喜世志町長は今後、町民や専門家の考えも踏まえて自らの意見書を作成し、県に提出する予定。

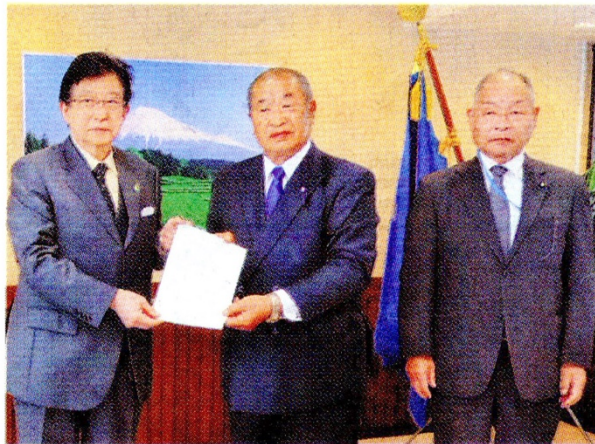
同日はこのほか、植松淳史（自由かなみ）、土屋学（一心会）、田中正美（共産）、大庭桃子（同）の 4 氏も登壇した。

町議会 知事に反対の意見要望

函南メガ
ソーラー

「視察し住民の声聞いて」

町議会 知事に反対の意向要望



川勝知事(左)に意見書を手渡す中野議長
＝県庁(提供写真)

函南町の軽井沢地区で進む大規模太陽光発電(メガソーラー)建設計画を巡り、同町議会(中野博議長)は、このほど、川勝平太知事に「(仮称)函南太陽

光発電事業の環境影響評価意見概要書」に対する知事意見について、「函南町民の建設反対の意向の反映を求める意見書」を提出した。中野議長らが県庁を訪ね、川勝知事に手渡した。

同意見書は事業者が、県条例に基づき実施した同事業に関わる環境影響評価書に関する内容。同議会の「メガソーラー建設計画問題対策特別委員会」が3月定例会に提出し、全会一致で可決された。

意見書は川勝知事に対し「議員や多くの町民も同事業に対して反対の意向を示した意見書を提出している。現状を鑑み、意見概要書に付する知事意見にこの意向をくみ取ってほしい」と強く求めている。

中野議長は川勝知事に対して「建設予定地を視察して町民、住民の声を直接聞いていただく機会を設けてほしい」と要望。川勝知事は「全国知事会で同様の課題を抱える自治体と協調し、法律における権限行使ができるよう国に働き掛けていきたい」と答えた。

メガソーラー知事意見書に反映を

南
町議会「建設反対」要望
函
メガソーラー知事意見書に反映を

函南町議会の中野博
議長らはこのほど県庁
を訪れ、同町軽井沢で
建設計画が進む大規模
太陽光発電所（メガソ
ーラー）について、環
境影響評価（アセスメ
ント）の方法書に対す
る知事意見書に、多
くの町民が示している
建設反対の意向を反映
するよう川勝平太知事
に要望した。川勝知事
は「住民が反対してい
るものは反対」との考
えを示した。

川勝知事は環境アセ
スの意見概要書が出さ
れた3月末から90日以
内に、仁科喜世志町長
らの考えも受けて意見
書を作成する。中野議
長との面会では同様の
問題が各地で起きてい
る現状に触れ、「全国
知事会で同じ課題を抱
える自治体と協調し、
法律による権限行使が
できるよう国に働きか
けたい」と述べた。

中野議長は「建設予
定地を視察し、町民の
声を直接聞く機会を設
けてほしい」と川勝知
事に訴えた。

最新情報は下記のウェブサイトをご覧ください。

→ <https://dialand.jp>